

野洲市資料提供

提供年月日	令和7年3月24日
担当部課	市民部文化スポーツ振興課 中主B&G海洋センター
担当者	中川
連絡先電話番号	077-587-3477

野洲市中主B&G海洋センタープールの今後について

施設の老朽化により今年度から利用を休止している野洲市中主B&G海洋センタープール(以下:BGプール)の今後の在り方について、検討を重ねてきましたが、総合的に勘案した結果、施設の継続は困難であると判断しBGプールを廃止とします。その後の活用は、多目的グラウンドとして整備することと方針をまとめました。

記

- 経過
令和6年3月 B&G 財団へ「プール休館届」を提出
令和6年9月 野洲市教育委員会での野洲市小中学校プールの集約化検討において、BG プールを水泳授業で活用しない方針が示される
令和7年2月 野洲市スポーツ推進審議会において BG プールの廃止・多目的グラウンド化を了承
- 施設概要 昭和57年6月 設置
スイミングプール 2基 25m×13m、10×6m
プール上屋 1棟 830.375 m²
事務所および更衣棟 1棟 111.78 m²
- 休止後の取扱い
(1)方向性⇒廃止
(2)廃止理由
①老朽化により利用者の安全確保及び安定した運営が困難
②水泳授業での活用がない
(教育委員会での野洲市小中学校プールの集約化検討)
③野洲市健康スポーツセンターの利用促進
- 廃止後の活用検討(B&G 財団に廃止申請と併せて示す必要あり)
①用途変更…屋根付き多目的グラウンド(利用想定はフットサルなど)
※プールの鉄骨や缶体を活かし用途変更することで B&G 財団の助成金が活用可能
・主なメリット…天候に左右されない
・主なデメリット…プールの一部の活用条件と整備費用が高む

②除却し整備…多目的グラウンド(利用想定はウォーミングアップなど)

※除却債が活用可能(令和8年度まで)

- ・主なメリット…市民グラウンドとの相互利用
- ・主なデメリット…近接する中主中学校への影響を配慮した解体工事時期

5. 野洲市スポーツ推進審議会(令和7年2月7日付議)

①主な意見等

- ・学校のプールの授業で使用しないことが決められており、廃止することは妥当。用途変更するとしたら高額な予算が必要となることが懸念される。
- ・プールは老朽化も著しい状況だったので、除却でいいと思う。ただ、除却した場所だけを考えるのではなく、隣接する体育館や市民グラウンドも含めて全体として考えた方がいいのではないか。
- ・近年は熱中症の問題もあることから B&G 財団の助成金を使って屋根のある施設を整備できないか。

⇒プールの屋根や缶体等を残して活用しないと B&G 財団の助成金の対象とはならない。施設は老朽化が著しいので、補強等の費用を考えると助成金を活用しても多額の予算を市が負担することになると考えられる。隣接する市民グラウンドを大会等で使用する場合、この跡地をグラウンドとして整備すれば、アップ会場や休憩のためのテントを張るスペースとして活用することが見込める。

②審議の結果

今後跡地をどのように使うかは引き続きの課題として、一旦グラウンドとして整備することは了承する。

6. 廃止後の活用の方針

施設は、解体する。その跡地は多目的グラウンドとして整備、活用する。

【理由】

用途変更は、助成金の活用や天候に左右されないなど魅力的ではあるが、整備や利用に制約があること。整備費用が高額で、維持管理経費もかかる点は大きなマイナス材料である。

除却後に整備は、現有施設との相互利用や建物を持たないことによる様々な活用や維持管理費用を抑制できる。

7. 今後のスケジュール

年度	上半期	下半期
令和7年度	B&G財団へ廃止申請書を提出 B&G財団による現地視察	B&G財団理事会で廃止承認
令和8年度	解体等工事 (夏休みを中心に想定)	跡地施設整備等工事

※B&G財団理事会の廃止承認時期によりスケジュールは変わります。

参考：位置関係

